

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミライこどもケア発達支援教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性のある療育を行っていること。	日本感覚統合学会の理事の先生を招いての感覚統合研修を行い、知識や実践力の向上ができるよう取り組んでいる。	それぞれの職員が参加した研修や読んだ本等で得た知識の共有を図り、日々の療育に反映していけるようにしていきたい。
2	一人ひとりのお子さんのことを理解し、特性に応じた専門性のある支援ができること。	ミーティングを行い、その中で事例検討の時間を設け一人ひとりのお子さんの情報の共有やどのように理解して支援していくかについての質疑応答の時間を作り、お互いに学び合えるようにしている。	思春期へ向けてのお子さんの心身の発達についても研修等に参加し理解を深め、先を見通した支援を行っていくようにしたい。
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	それぞれのお子さんの好きなことに療育目標を合わせていき、楽しんで活動できることや少しずつ遊びを変えていくことを行って固定化されることのないようにしている。	小集団の遊びでは様々な展開や遊びの広がりを持たせていけるよう、多角的な角度から遊びを考えていくようにしたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で行っている避難訓練等が行われていることが周知されていない。	療育についての情報を伝えることに重きを置きすぎており、避難訓練等の開催の事実を情報として伝えることができていなかった。	事業所内新聞等で定期的に訓練を行っていることを伝えていくようにする。
2	保護者向けのイベントは開催しているが、きょうだい向けのイベント開催等のきょうだいへの支援はできていない。	イベント内容に関しては療育業務に支障がない規模での開催をしており、きょうだい児に向けた内容を作り上げることはできていない。	イベントの規模拡大を図っていけるよう、計画を立てていきたい。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の子どもと活動する機会が持てていない。	個別療育を行っていることもあり、療育時間内での交流は環境要因として難しいと思われる。	イベントとしての開催で実現していけるようにしたい。